

京都市美術館再整備ワークショップ ～若手作家等の育成と支援に向けて～ 参加者募集のお知らせ

京都市では、京都市美術館を将来にわたり国内外の人々を魅了する世界に誇る美術館としていくため、京都市美術館再整備事業を進めています。

この度、次世代を担う若手作家や芸術系大学の学生等の皆様から、京都市美術館における創作活動等への支援の方向性について意見をお聞きして、再整備後の運営に活かしていきたいと考えています。是非、ワークショップにご参加ください！

日時

平成28年9月21日（水）午後2時～午後5時

場所

京都市動物園レクチャールーム（左京区岡崎法勝寺町 岡崎公園内）

募集人数

25名（申込み多数の場合抽選） ※参加費無料

参加対象

若手作家、芸術系大学の学生などワークショップのテーマに関心のある方を広く募集します。

内容

テーマ「京都市美術館における次世代を担う作家の育成と支援策」

【サブテーマ①】若手芸術家の育成と活動支援

【サブテーマ②】教育機関との連携、美術館施設・事業の活用による教育プログラムの推進

*裏面の「サブテーマ集」に詳細を掲載しています。

<コーディネーター>

加須屋 明子（京都市立芸術大学美術学部教授）

<ファシリテーター>

遠藤 水城（HAPS実行委員長、インディペンデント・キュレーター）

勝治 真美（京都芸術センター プログラムディレクター）

佐野 真由子（国際日本文化研究センター准教授、京都文化芸術都市創生審議会委員）

松尾 恵（MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w 代表、ギャラリスト）

山本 麻友美（京都芸術センター チーフプログラムディレクター）

申込方法

裏面の参加申込書（任意の様式でも構いません）に必要事項を記載のうえ、メール又はFAXで、京都市美術館に送付してください。

参加者の募集期間 平成28年8月23日（火）～9月8日（木）必着

～サブテーマ集～

1 若手芸術家の育成と活動支援

<サブテーマ>

- ①地下ギャラリー、多目的展示スペース、新館（現代アート）の活用のあり方
- ②閉館中の若手作家支援に向けた京都市美術館の取組
（工事期間中しかできない若手作家の発表の場となるアートイベントやWS等）
- ③京都市美術館の美術を超えた分野横断的な活用

2 教育機関との連携、美術館の施設・事業の活用による教育プログラムの推進

<サブテーマ>

- ④京都市美術館と京都の芸術系大学、京都芸術センター、HAPS等との実質的・発展的な連携のあり方について
- ⑤再整備後の普及・教育活動（教育プログラム、ワークショップの実施方針）
- ⑥子どもや高齢者等を対象にした鑑賞者への教育活動（開館時間や利用料金等のあり方を含む）
- ⑦文化施設が集積する岡崎地区における京都市美術館の役割

京都市美術館再整備ワークショップ 参加申込書

住所	〒		
氏名		年齢	
所属			
TEL(携帯, 自宅)		メールアドレス	
参加動機			
関心のあるテーマ	(サブテーマ集①～⑦から選択)	(①～⑦以外に関心のあるテーマがあれば記載してください)	
テーマに関する意見			

<申込み・問合せ先（募集期間：平成28年8月23日（火）～9月8日（木）必着）
京都市美術館総務課（京都市左京区岡崎円勝寺町124番地）
TEL 075-771-4107 FAX 075-761-0444
メール bijutsukan@city.kyoto.lg.jp